

ナカムラペットクリニック 中村 金一

半導体レーザー治療に関して

①導入時期：

PD-15、2005年1月 冷却システム・分配器システム、2013年8月

D-LaseV20、2018年10月

②よく使用する臨床内容と医学的評価、オーナー評価

エキゾチックアニマルの卵巣、子宮摘出術。出血が少なくシール切断によって縫合糸を使用することも最小なので肉芽腫のリスクも軽減できる。オペ後の回復も早く日帰り手術可能なので入院費の削減にもつながりオーナーの満足度は高い。

③使用頻度：

ほぼ毎日何かしらの処置に使用している。

④印象的な症例

モルモットの卵巣摘出は難易度の高いオペだがレーザーバイポーラのおかげで実施可能であった。

⑤採算に関して

CO2レーザー等と異なって使用用途が広いので十分に採算は取れるものと思います。

⑥今後のテーマ

今後もデバイスの開発を行っていただきさらなる治療法にチャレンジしていきたいと思います。

⑦他のユーザーへのコメント

半導体レーザーのおかげで治療の選択肢も広がりまた各種デバイスがあるのでストレスフリーのオペが可能なので精神上も楽になります。

---

## 病院及び Dr 紹介

ナカムラペットクリニック

中村金一

---

## ユーザー紹介

掲載日：2015/10/14

ナカムラペットクリニック 中村 金一

病院概要：住所 岡山市中区桜橋4-5-30

電話 (086) 271-1170

開業 1985年

特色 エキゾチックアニマルに対する診断、

治療



獣医師紹介：院長 中村 金一

昭和30年生まれ 酪農学園大卒



設備概要：X線装置 DR 内視鏡

外科用機器：電気メス サージカルドリル マイクロエンジン

レーザー治療に関し

導入時期 2005年1月

よく使用する臨床内容と医学的評価、オーナー評価

エキゾチックの外科手術に於いて特に腫瘍の摘出術あるいはレーザーサーミアに使用している。摘出術に於いては出血のコントロール、サーミアに於いては手術不可の症例についてQOLの改善を目的として行っている。オーナーからは治療不可と言われた症例に於いてもサーミアをすることでQOLの改善がみられ満足との評価を頂いている。

使用頻度：平均週3～5例

印象的な症例

フェレットの悪性リンパ腫に於いて一回のレーザーサーミアにて寛解し、その後再発がみられなかった症例。

今後のテーマ

レーザーサーミアのプロトコルの確立

他のユーザーへのコメント

レーザー治療の可能性はまだまだ広がると考えられます。レーザーの利点を活かして使えば、日々の診療が楽になることは間違いありません。